



# YUMINO MAGAZINE

vol.5 | 2023.8

- ・新入職医師紹介
- ・東京都から感謝状を授与されました
- ・のぞみハートクリニック天王寺開院



## のぞみハートクリニック開院5周年を迎えて

新大阪の地に、のぞみハートクリニックが開院してから早 5 年が経過しました。開院以降、外来診療および在宅訪問診療に注力してきましたが、5 年という歳月の中では様々なことがありました。時間の経過を長く感じた時あれば、あっという間に経過していった時もありました。当時のことを振り返るとたくさんの出来事が昨日のことに浮かんできます。開院当初のスタッフ数は 10 人前後でしたが、現在では常勤、非常勤合わせて 80 人を超える大所帯の多職種チームになっています。

さて、同じ“のぞみ”と言えば、新幹線の“のぞみ”号も昨年の 2022 年 3 月に 30 周年を迎えました。のぞみ号の名前の由来に関しては以下のような逸話があります。

こだま・ひかりに続く新幹線の名称を決める委員会において、当時、学識経験者として招かれた小説家の阿川佐和子さんが、「日本国鉄の列車の名前は、歴代すべて大和言葉でつけられてきた」という経緯を、父親で小説家の阿川弘之さんから聞いたとのこと。それをきっかけに、候補に挙がっていた“希望”を大和言葉にして“のぞみ”にしてはどうでしょうか、と提案されたとのこと。委員会では、他にも“太陽”、“エース”、“つばめ”などが名前の候補として挙がっていたそうですが、最終的に、のぞみに決まったということです。

のぞみハートクリニックを命名する際には、大和言葉については意識していなかったのですが、当時はクリニックの発展・成長を願って、“のぞみ”という言葉の中にその思いを込めました。のぞみハートクリニックの取り組みが、地域医療・介護の一助になることができればという気持ちで、初心に帰って頑張っていきたいと思えます。



のぞみハートクリニック 院長 岡田 健一郎

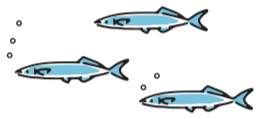
## 理事長コラム 最近の一冊

### 『これは水です』

デヴィット・フォスター・ウォレス著 2018年

『これは水です (原題: THIS IS WATER)』は、20 世紀最後の大作家と言われたデヴィット・フォスター・ウォレスが、2005年にケニオンカレッジで行った卒業式スピーチの完訳本となります。

スピーチは、水中を泳ぐ魚たちの会話から始まります。



老いた魚は、若い魚に問います。「水はどうだい？」。

すると若い魚はこう答えました。「水って一体、何のこと？」。

若い魚は、水なしで生きることができないにもかかわらず、生まれたときから水中で過ごしてきたがゆえに、水を認識していないのです。ここで“水”が示しているのは、私たちの身の回りのごくありふれたこと。それは、意識的に考えることが難しいにもかかわらず、一番大切なことです。

続いて、「アメリカの社会人の暮らしの大部分をなすもの、そこにあるのは決まりきった日常、ささいな苛立ちです。」と、社会に出た若者たちが毎日味わうであろう葛藤を表現しています。さらに、決まりきった日常がささいな苛立ちに満ちている理由を、無意識のまま自己を世界の中心に位置づけ、そして私たちが無意識に、お金やもの、権力や知性に引きずられているからだ、と述べています。

例えば、人生において意味があるもの、お金やもの、であるとするならば、一向に充足感がなく、底なしになります。権力や知性を崇拝すると、他人を支配する力が無限に必要になり、また抜け目のない奴と見られながら自分の愚かさを感じ続けることになります。現代の、この状態こそが無意識にある私たちの初期設定で、それをアップデートしていくことこそが、リベラルアーツ、すなわち、本当の教育がもたらす自由である、と語ります。では、「頭蓋骨サイズのちっぽけな王国でふんぞり返る暴君」から「広大な外の世界」へと踏み出すためには、どうすればいいのでしょうか？

それは、他者への思いやりと敬意をもつことです。そのために「少しばかり謙虚になり、自分自身と自分の確信に少し“批判的な自意識”をもつ」ことを勧めています。これらを今の私たちが毎日続けることはもしかしたら困難なことかもしれませんが、「もし成功すれば、私たちの人生はきっと豊かになる。少なくとも何が現実で、本当に大切なのは、誰であり、何なのかを考えることができるようになる。」と語っています。ここでいう「自分自身」「自分の確信」はごくわかりきったこと、つまり前述の“水”にあたります。

日頃、外来や訪問診療において、多くの患者さんを診ることができるのは、当たり前のように支えてくれているクリニックのスタッフ、また地域の医療介護スタッフらのチームの存在があるからです。

私にとって、「これは水である」ことを、改めて感じさせてくれた一冊でありました。

理事長 弓野 大

STAFF INTRODUCTION

## 新入職医師のご紹介

2023 年に入り、医療法人社団ゆみのには新たに 15 名の医師が入職いたしました。患者さん一人ひとりに寄り添った診療を提供してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

TOKYO

ゆみのハートクリニック 高田馬場  
YUMINO HEART CLINIC



小林 知晃

KOBAYASHI TOMOAKI

内科／循環器内科



中澤 まゆい

NAKAZAWA MAYUI

内科／循環器内科



方 眞美

HO MAMI

内科／循環器内科

三鷹



渡辺 絵梨沙

WATANABE ERISA

内科／循環器内科



雨宮 未季

AMEMIYA MIKI

内科／循環器内科

TOKYO

ゆみのハートクリニック三鷹  
YUMINO HEART CLINIC



河合 冬星

KAWAI TOSEI

内科



平川 陽亮

HIRAKAWA YOSUKE

内科／腎臓内科

TOKYO

ゆみのハートクリニック 渋谷  
YUMINO HEART CLINIC



砂川 昌隆

SUNAGAWA MASATAKA

内科／循環器内科



肥後 太基

HIGO TAIKI

内科／循環器内科

高田馬場 福岡



吉崎 隆道

YOSHIZAKI TAKAMICHI

循環器科



佐々木 高史

SASAKI TAKAFUMI

内科／循環器内科

OSAKA

のぞみハートクリニック 新大阪  
NOZOMI HEART CLINIC



木下 絢奨

KINOSHITA KENSUKE

内科／循環器内科



世良 英子

SERA FUSAKO

内科／循環器内科



西谷 伸吾

NISHITANI SHINGO

内科／循環器内科



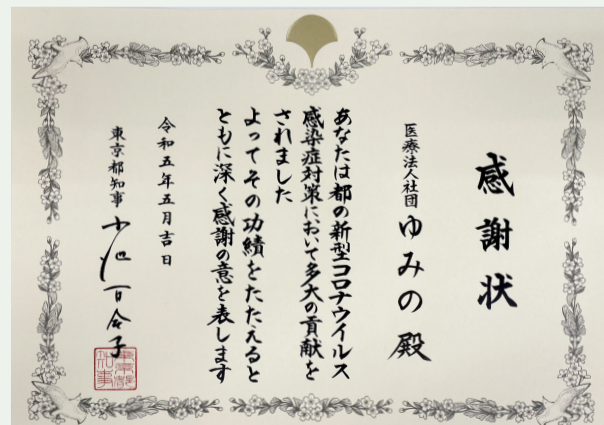
眞野 翔

MANO SHO

循環器科

### 東京都より感謝状を授与されました

東京都では、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、感染者の宿泊療養施設での健康管理を行ってきました。2021年より、当法人は東京都からの委託を受け、品川プリンスホテルを拠点に、12の宿泊療養施設への医療介入、重症化リスクをもつ方への中和抗体療法、必要な方への往診やオンライン診療などを実施してまいりました。その後、拠点を新宿ワシントンホテルに移転。2023年5月に5類感染症へ移行し、都内唯一の宿泊療養施設となった現在も、健康管理を継続しています。結果として、宿泊療養施設からの病院への入院搬送を減らし、救急隊や病院の負担軽減につながったと評価を受け、このような形で表彰いただきました。感染者への対応を継続しながら、第9波を乗り越える体制を整えております。



News!

# 新規開院のお知らせ

大阪・天王寺に7月、「のぞみハートクリニック天王寺」を開院いたしました。そして、12月には東京・渋谷に、ゆみのハートクリニック渋谷の外来診療部門が「ゆみのクリニック渋谷桜丘」となって新規リニューアルオープンいたします！



## 2023年7月 のぞみハートクリニック天王寺 開院！



7月19日（水）、当法人としては6つ目、大阪府内では2つ目となるクリニック「のぞみハートクリニック天王寺」を開院いたしました。この地域で生まれ育った小出院長を中心に、皆様に信頼される、温かで質の高い医療を提供してまいります。

ごあいさつ

先進的な治療を行っても再入院を繰り返す多くの心不全患者さんたちを目の当たりにして、在宅医療の重要性を感じ、東京で在宅医療を学んでから大阪へ戻り、当院を開院いたしました。多職種の専門スタッフが一丸となり、患者さんとそのご家族が安心して過ごせるようにサポートさせていただきます。



院長  
小出 雅雄  
KOIDE MASAO



看護師長  
成岡 亜彩  
NARIOKA AAYA



理学療法士  
大浦 啓輔  
OURA KEISUKE



ソーシャルワーカー  
松田 真由美  
MATSUDA MAYUMI

院長 小出 雅雄  
(循環器専門医/総合内科専門医)



〒543-0051  
大阪府大阪市天王寺区  
四天王寺 1-14-16 伊藤ビル

TEL 06-6776-8882  
FAX 06-6776-8883



山口大学卒業後、国立病院機構大阪医療センターにて研修、大阪警察病院で研鑽を積む。心不全、虚血性心疾患、不整脈などの幅広い循環器疾患の診療の第一線で、入退院を繰り返す慢性心不全患者を数多く経験。2018年医療法人社団ゆみのへ入職、ゆみのハートクリニック渋谷にて2年間勤務。大阪へ戻り、のぞみハートクリニックを経て現在に至る。



## 2023年12月 渋谷駅直結 ゆみのクリニック渋谷桜丘 開院！



12月に竣工する渋谷駅直結の複合施設「渋谷サクラステージ」内に、「ゆみのクリニック渋谷桜丘」を開院いたします。専門医が多数在籍し、内科全般の外来診療を幅広く行うほか、消化器内視鏡など多様な検査に対応。平日夜間や土曜・日曜も受診可能です。何でも相談できる“街のかかりつけ医”として病気の発症・再発・予防をお手伝いいたします。

ごあいさつ

幼少期からのゆかりの地、渋谷にて皆様と関わらせていただく機会をいただき、本当に嬉しく思います。地域の皆様に感謝と親しみを込め、クリニック名に「渋谷桜丘」を付けました。内科、呼吸器内科、循環器内科を中心に、消化器内視鏡も導入され、さらにわかりやすく幅広く皆様のお役に立てるよう、スタッフ一同取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

院長 弓野 陽子  
(呼吸器専門医/内科専門医/アレルギー専門医)



北里大学医学部を卒業。東京慈恵会医科大学内科レジデント、東京通信病院呼吸器科、東京慈恵会医科大学付属病院呼吸器内科を経て、地域医療に従事。気管支喘息や慢性閉塞性肺疾患（COPD）、長引く咳など、呼吸器領域の幅広い疾患の治療を行っている。



## 第5回日本在宅医療連合学会大会に登壇しました



2023年6月24日(土)～25日(日)に新潟県で開催された第5回日本在宅医療連合学会大会に、当法人の医療スタッフ計6名が登壇しました。理事長弓野が4つのシンポジウム・演題で座長を務めたほか、吉本明子医師は3つの演題(脊髄損傷者の在宅リハビリ、在宅心不全診療、嚥下機能障害)を発表し、来場者の注目を集めました。今後も当法人では学会発表を通じて質の高い医療の提供を目指しながら、蓄積した知見を全国に発表することで、医を通して社会に貢献できるよう努めてまいります。

管理栄養士直伝!

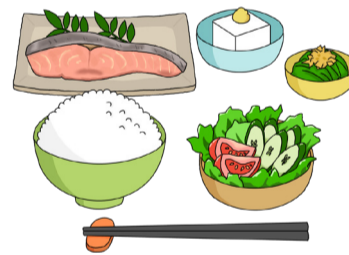
## 健康寿命を延ばす栄養学 vol.2

波多野 桃

ゆみのハートクリニック  
管理栄養士

肉の脂やバターなど常温で固形の脂は、体内で悪玉コレステロールを作るものになります。メインディッシュは肉類に偏ることなく、魚や豆類を中心にするをお勧めします。野菜、きのこ、海藻、こんにゃくなどに含まれる食物繊維を摂ることで、脂質異常症の予防や改善に繋がります。夏場にミルクたっぷりの甘いアイスカフェオレばかり飲んでいると、悪玉コレステロールや中性脂肪が増えやすいのでご注意ください。

### 脂質異常症予防の食事



タンパク質は肉よりも魚と豆腐から



両手のひら分の野菜を毎日摂ろう

### 拠点一覧 (2023年8月時点)

東京

ゆみのハートクリニック 高田馬場 〒171-0033 東京都豊島区高田 3-14-29 KDX 高田馬場ビル 1F

ゆみのハートクリニック 渋谷 〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町 25-18 NT 渋谷ビル 2F

ゆみのハートクリニック 三鷹 〒181-0012 東京都三鷹市上連雀 2-2-1 ネベル三鷹 2F

ゆみの訪問看護ステーション 〒161-0034 東京都新宿区上落合 2-9-16 インテック落合 207

大阪

のぞみハートクリニック 新大阪 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 3-5-36 新大阪トラストタワー 1F

のぞみハートクリニック 天王寺 〒543-0051 大阪府大阪市天王寺区四天王寺 1-14-16 伊藤ビル

福岡

わかばハートクリニック 福岡 〒810-0073 福岡県福岡市中央区舞鶴 3-9-39 福岡舞鶴スクエア 1F